

2022年積水ハウスマッチングプログラム 選定後講評

積水ハウスマッチングプログラムの会
理事長 大崎 彰



「積水ハウスマッチングプログラム」は、積水ハウスグループにおけるESG経営に基づく社会貢献活動の一環として、グループ会社の役員及び従業員(2022年1月現在、約7800名)からの寄付金と、その同額(積水ハウス株式会社からの拠出金)を合わせたファンドを原資として、「こども基金」「環境基金」の2つのテーマについての活動を助成するプログラムです。

このたび、全国から124件の応募をいただき、ありがとうございました。選定委員である従業員代表の理事一同、当プログラムへの関心と期待の高さに慎重に選考を行いました。

以下、2022年助成申請の概況、選考プロセスや選考結果を報告します。



■助成申請の概況

今回より、具体的なプロジェクトに対して助成する「プロジェクト助成」のほか、団体の活動全体に対して助成する「団体助成」を新たに設けました。また、このマッチングプログラムを通して、各地の積水ハウスグループ事業所で地域や社会に目を向けた取り組みを進めるため、事業所または従業員からの推薦を必須とし、積水ハウスとの連携・協働の実績や可能性を重視して選考することとしました。申請は、基金の種類別では、こども基金78件、環境基金46件。助成の種類別では、プロジェクト助成55件、団体助成69件となっています。

■選考プロセスと審査のポイント

一次審査は、理事長、社外アドバイザー、事務局の三者にて基礎的要件の整理作業を行い、書類審査を実施。審議の結果、102件(こども基金58件、環境基金44件)が一次審査を通過しました。

その後、会員アンケート、団体への面談・ヒアリング等を行い、積水ハウスマッチングプログラム理事会による最終選考(二次審査)を実施。その結果、2022年度助成は、プロジェクト助成(助成金額36万円~100万円)に40件(こども基金24件、環境基金16件)、団体助成(30万円)に54件(こども基金33件、環境基金21件)の助成を決定いたしました。引き続き、長期助成の2団体についても協議を行い、2団体ともに最終年度となる助成を決定いたしました。

一次審査通過:102件		➡	最終結果:94件	
こども:58件	プロジェクト:45件		こども:57件	プロジェクト:40件
環境:44件	団体:57件		環境:37件	団体:54件

■全体講評

今回は、本会の助成目的を明確化するため、従来の4基金から2基金に絞り込み、あわせて新たに設けました「団体助成」により地域と当社グループが広くつながり、地域密着が強化されることを図りました。結果として「団体助成」には多くの申請があり、団体側からも使いやすい助成金が求められていることが感じられ、事業所または従業員からの推薦を必須とすることで、事業所・従業員にとっては各地域で活動する市民活動団体に目を向けるきっかけとなりました。今回選定された団体・プロジェクトは、課題の解決に向けて直接支援となるものが多く、コロナ禍での社会状況を踏まえた提案とともに、従業員との協働連携に向けた積極的な提案も多くありましたので、今後の具体的な取組みに期待します。

「こども」「環境」に関する社会問題に直面する中、当プログラムを通じて、共に社会的課題の解決、新しい価値の創造にチャレンジしていただきたいと思います。引き続き、2023年度助成へも多数の応募をお待ちしております。

